

令和7年度宮城県老人福祉施設協議会事業計画 骨子

《 重点事項 》

《 事業計画 》

I 人材の確保・育成・定着の取組 〔制度政策委員会・研修委員会・広報委員会〕	1. 人材の確保・育成・定着の取組	(1) 経営幹部研修の充実強化 〔詳細はⅢ-1〕 ア. 経営者研修 イ. 管理・監督者研修Ⅰ・Ⅱ (2) 職員研修の充実強化 〔詳細はⅢ-1〕 (3) 職員交流・研修事業の実施 〔宮城次世代委員会〕 ア. 宮城県・仙台市次世代委員会合同研修会
	2. 宮城県介護人材確保協議会等との連携	(1) 宮城県介護人材確保協議会への参画・協働 (2) 宮城県社会福祉協議会との連携
Ⅱ「地域包括ケアシステムの深化・推進」に向けた取組 〔制度政策委員会〕	1. 「地域共生社会」の実現に向けた取組	(1) 地域貢献活動の推進 ア. 地域貢献活動助成金事業 イ. 令和7年度「実践研究発表会」での発表 (2) 制度政策委員会活動の充実 ア. 特別養護老人ホーム部会 イ. 養護老人ホーム部会 ウ. ケアハウス部会 エ. デイサービス部会 (3) 宮城県地域共生社会推進会議への参画
Ⅲ サービスの質の向上への取組 〔研修委員会〕	1. 職員育成の充実強化	(1) キャリアパスモデル対応研修 ア. 新任職員研修Ⅰ (採用1年目) イ. 新任職員研修Ⅱ (採用2年目) ウ. 中堅職員研修 (経験3年～5年の介護福祉士) エ. 管理・監督者研修Ⅰ (介護職のリーダー・主任) オ. 管理・監督者研修Ⅱ (介護・看護職のリーダー・主任) カ. 経営者研修 (施設長、法人役員・事務局長) (2) 専門研修 ア. 生活相談員研修Ⅰ・Ⅱ イ. 看護職員研修 (キャリア形成支援選択型研修) ウ. 看取りケア研修 エ. 口腔ケア・栄養管理研修 オ. 高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修
	2. 実践研究の推進	(1) 科学的介護の実践・研究 (2) 令和7年度「実践研究発表会」開催
Ⅳ 地区活動の推進 〔地区連絡協議会〕	1. 地区活動の推進	(1) 「地区連絡協議会」活動の推進 (2) 地区「介護・福祉フェスティバル」開催
Ⅴ 災害時相互支援活動の推進 〔災害対策委員会〕	1. 災害対応力の向上	(1) 災害対応訓練の充実 〔地区連絡協議会〕 (2) 災害対応力向上研修の実施 ア. 福祉避難所開設・運営研修 イ. 災害派遣介護チーム員養成研修 (3) 災害対策委員会活動
	2. 宮城県災害福祉広域支援ネットワーク協議会への参加	(1) 協議会活動への参加・協力
	3. 東北ブロック老人福祉施設協議会との連携	(1) 東北ブロック老施協との広域連携
	4. 全国老人福祉施設協議会との連携	(1) 災害派遣福祉チーム(DWAT)活動への協力

令和7年度宮城県老人福祉施設協議会事業計画

高齢者施設は、介護・看護人材の確保・育成・定着、物価高騰、職員の賃金改善、職員採用コストの増大、職員の高齢化、入所待機者の減少傾向等、大変厳しい経営状況に直面し、現下の課題対応に日々苦慮しているところですが、厚生労働省では、令和7年1月から『「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会』を開催し、「1. 人口減少・サービス需要の変化に応じたサービスモデルの構築や支援体制」、「2. 介護人材確保・定着、テクノロジー活用等による生産性向上」、「3. 雇用管理・職場環境改善など経営の支援」、「4. 介護予防・健康づくり、地域包括ケアと医療介護連携、認知症ケア」の4つの課題を掲げ、2040年問題への対応について具体的な検討に着手しました。

私たちも、将来にわたる事業継続のために、今から、超少子高齢・人口減少社会となる2040年以降を見据えた事業戦略を策定し自律的経営に努めていくことが必要です。

このような社会情勢を踏まえ、下記の5項目を重点事業に掲げ、会員施設の連携・協働、学び合いにより、本会の目的達成に向け事業を実施してまいります。

《重点事業》

1. 人材の確保・育成・定着の取組
2. 「地域包括ケアシステムの深化・推進」に向けた取組
3. サービスの質の向上への取組
4. 地区活動の推進
5. 災害時相互支援活動の推進

【重点事業への取組】

I 人材の確保・育成・定着の取組

1. 人材の確保・育成・定着の取組

- | | |
|------------------------------------|------|
| (1) 経営幹部研修の充実強化（詳細は、Ⅲ－1） | |
| ア. 経営者研修 | |
| イ. 管理・監督者研修 | |
| (2) 職員研修の充実強化（詳細は、Ⅲ－1） | |
| ア. キャリアパスモデル対応研修 | |
| (ア) 新任職員研修Ⅰ | |
| ・介護職 | (8日) |
| ・総務・企画・経営職 | (3日) |
| (イ) 新任職員研修Ⅱ | |
| ・介護職 | (4日) |
| (ウ) 中堅職員研修 | |
| ・介護職 | (9日) |
| ・総務・企画・経営職 | (2日) |
| (エ) 管理・監督者研修Ⅰ | |
| ・介護職 | (4日) |
| ・総務・企画・経営職 | (2日) |
| (オ) 管理・監督者研修Ⅱ | |
| ・介護職及び看護職 | (8日) |
| (カ) 経営者研修 | |
| | (1日) |
| イ. 専門研修 | |
| (ア) 生活相談員研修Ⅰ・Ⅱ | |
| (イ) 看護職員研修 | |
| (ウ) 看取りケア研修 | |
| (エ) 口腔ケア・栄養管理研修 | |
| (オ) 高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修 | |
| (3) 職員交流・研修事業の実施 | |
| ア. 宮城県・仙台市次世代委員会合同研修会 [宮城次世代委員会担当] | |

2. 宮城県介護人材確保協議会等との連携

- (1) 宮城県介護人材確保協議会への参画・協働
 - ア. 宮城県介護人材確保協議会事業への参画・協働
 - イ. 宮城県介護職員合同入職式（宮城県との共催）
- (2) 宮城県社会福祉協議会との連携
 - ア. 宮城県福祉人材センター
 - イ. 宮城県介護研修センター

II 「地域包括ケアシステムの深化・推進」に向けた取組

1. 「地域共生社会」の実現に向けた取組

他の事業主体では対応が困難な地域の様々な生活課題や福祉ニーズに対応した「地域における公益的な活動」に積極的に取り組み、社会福祉法人経営施設の存在意義を高める。

(1) 地域貢献活動の推進

ア. 地域貢献活動助成金事業

- ・手上げ方式で事業実施施設を募集する。（各地区から1施設の応募を想定。）
- ・「地域貢献事業推進助成金の交付に関する内規」第2条に規定する事業実施施設には、予算の範囲内で活動助成金を交付する。

イ. 令和7年度「実践研究発表会」で活動内容を発表する。

(2) 制度政策委員会部会活動の充実

私たち社会福祉法人経営施設が、地域包括ケアの時代における地域密着型の福祉ベースキャンプとしての機能を発揮するための方策、自律的経営、会員間の連携・協働による事業展開等について、研究・実践を進める。

このため、部会活動を活性化し、必要に応じ、研修・勉強会等も開催する。

ア. 特別養護老人ホーム部会

- ①部会 2回

イ. 養護老人ホーム部会

- ①東北ブロック老施協養護老人ホーム職員研修会への参加
- ②東北ブロック老施協養護老人ホーム部会への参加
- ③部会 1回

ウ. ケアハウス部会

- ①東北ブロック老施協軽費・ケアハウス部会への参加
- ②部会 仙台市老施協との合同会議等 2回

エ. デイサービス部会

- ①東北ブロック老施協デイサービス部会への参加
- ②部会 2回

(3) 宮城県地域共生社会推進会議への参画

III サービスの質の向上への取組

1. 職員研修の充実強化

令和4年度に策定した『高齢者福祉施設職員「キャリアパス」モデル』を基に、会員施設におけるOJT、OFF-JT、自己啓発支援等の取組みとともに、計画的・継続的に研修を実施し、人材育成に努める。

今年度は特に、人材の育成・定着、質の高い介護サービスを提供できるチームづくりのカギを握る管理・監督者（主任・リーダー等）の研修を充実する。

(1) キャリアパスモデル対応研修

[介護職]

ア. 新任職員研修Ⅰ（集合研修・全課程受講）

受講方法：全課程受講

[定員30名]

対象者：採用1年目の介護職員、無資格の介護職員等

[第1日] 4月 3日(木) 10:00~16:00

1. 介護の仕事と職業倫理
2. 介護と接遇
3. 関係法令の基礎的理解

[第2日] 4月 9日(水) 10:00~16:00

4. 利用者理解とコミュニケーション
 - ①コミュニケーションの意義・目的・役割
 - ②利用者理解と支援 ③対人援助技術の基本

[第3日] 4月16日(水) 10:00~16:00

5. 認知症の基礎的理解と支援の基本

[第4日] 5月 1日(木) 10:00~16:00

6. 介護における医学的基礎知識
 - ①心と身体の仕組み
 - ②高齢者の特性と疾病の理解
 - ③薬の知識と服薬支援 ④感染症の基礎知識

[第5日] 5月 8日(木) 10:00~16:00

7. 障害の理解 8. 介護職の心身の健康管理

[第6日] 5月16日(金) 10:00~16:00

9. 記録の要点とチームケア
 - ①記録の意義と目的 ②記録の書き方
 - ③記録とチームケアの展開

[第7日] 5月20日(火) 10:00~16:00

10. 介護技術の基礎
 - ①安全安楽な基本的介助及び支援方法

[第8日] 10月17日(金) 10:00~16:00

11. フォローアップ研修
講義
 - ・第1日～7日研修の振り返り(事前レポート参考に)
 グループ討議
 - ・入職してからこれまでの振り返り
 - ・3年後の私を描く

イ. 新任職員研修Ⅱ（集合研修・全課程受講）

受講方法：全課程受講

[定員30名]

対象者：採用2年目の介護職員、無資格の介護職員等

[第1日] 6月 6日(金) 10:00~16:00

1. 認知症高齢者の理解とケア
 - ①認知症を持つ人を理解する重要性
 - ②認知症の病態・症状の理解
 - ③認知症を持つ人へのアセスメントとケア

[第2日] 6月11日(水) 10:00~16:00

2. 実践事例から学ぶ介護実践 (1)
 - ①介護過程の意義と目的
 - ②介護過程の理解
 - 1)アセスメント 2)計画の立案
 - 3)実施・チームケア 4)評価

[第3日] 6月18日(水) 10:00~16:00

2. 実践事例から学ぶ介護実践 (2)
 - ③介護過程の展開
 - ④個別援助計画の立案-①

[第4日] 6月19日(木) 10:00~16:00

2. 実践事例から学ぶ介護実践 (3)
 - ④個別援助計画の立案-②
 - ⑤計画の共有とチームケア

[総務・企画・経営職]

ア. 新任職員研修（集合研修）

受講方法：選択受講可対象者：新任の事務職員等

対象者：新任の事務職員等

[第1日] 4月 3日(木) 10:00~16:00

1. 介護の仕事と職業倫理
2. 介護と接遇
3. 関係法令の基礎的理解

[定員30名]

[第2日] 7月30日(水) 10:00~16:00

4. 社会福祉法人会計Ⅰ（基礎編）

[第3日] 11月予定 10:00~16:00

5. 社会福祉法人会計Ⅱ（決算編）

[介護職]

ウ. 中堅職員研修

[定員30名]

対象者 : 採用3年～5年の介護福祉士等

受講方法 : 原則全課程受講

* 第7日、第9日のみの受講も可

[第1日] 5月29日(木) 10:00～16:00	《集合研修》
1. 介護過程の展開 (1)	
① 介護過程とチームアプローチ	
[第2日] 6月13日(金) 10:00～16:00	《集合研修》
1. 介護過程の展開 (2)	
② 利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開	
[第3日] 6月26日(木) 10:00～16:00	《集合研修》
1. 介護過程の展開 (3)	
③ 利用者の生活と介護過程の展開	
[第4日] 7月15日(火) 10:00～16:00	《集合研修》
1. 介護過程の展開 (4)	
④ ICF(国際生活機能分類)と介護過程の展開	
[第5日] 8月28日(木) 10:00～16:00	《集合研修》
1. 介護過程の展開 (5)	
⑤ カンファレンス方式の事例検討	
[第6日] 9月25日(木) 10:00～16:00	《集合研修》
2. 事例から学ぶ認知症ケアの実際	
① 認知症を持つ人をアセスメントするための基礎的知識	
② アセスメントの実際	
③ 事例演習(グループワーク)	
[第7日] 10月10日(金) 13:00～16:00	《Web研修》
3. リスクマネジメント	
4. ハラスメント防止・対応	
[第8日] 10月21日(火) 10:00～16:00	《集合研修》
5. 医学的知識とフィジカルアセスメント	
① 高齢者の生活を守るための健康管理	
1) 高齢者の身体の変化と起こりやすい疾患	
2) 異常に気付くフィジカルアセスメント	
3) 健康管理に必要な多職種連携	
[第9日] 10月24日(金) 13:00～16:00	《Web研修》
6. ファシリテーションスキル	
7. リーダーシップ	

エ. 管理・監督者研修Ⅰ (集合研修)

対象者 : 介護職のリーダー、主任等

受講方法 : 全課程受講

[定員30名]

[第1日] 8月 8日(金) 10:00～16:00	
1. サービスの質の管理・苦情対応	
① サービスの質の管理～介護現場の現状と課題～	
② 苦情対応と組織運営	
[第2日] 9月11日(木) 10:00～16:00	
2. 事例による介護過程の展開	
① 事例演習	
[第3日] 日程未定 10:00～16:00	
3. 人材育成手法	
① 指導者に求められる役割	
② ティーチング・コーチングを活用した指導法	
[第4日] 日程未定 10:00～16:00	
4. 課題解決思考法	
① 課題解決の手順	
② 真因の追求	
③ 解決策の立案	

[総務・企画・経営職]

ウ. 中堅職員研修

対象者 : 事務職員等

受講方法 : 選択受講可

[第1日] 10月10日(金) 13:00～16:00	《Web研修》
1. リスクマネジメント	
2. ハラスメント防止・対応	

[第2日] 10月24日(金) 13:00～16:00	《Web研修》
3. ファシリテーションスキル	
4. リーダーシップ	

エ. 管理・監督者研修 (集合研修)

対象者 : 事務長、課長等

受講方法 : 選択受講可

[1日目] 日程未定 10:00～16:00	
1. 人材育成手法	
① 指導者に求められる役割	
② ティーチング・コーチングを活用した指導法	
[2日目] 日程未定 10:00～16:00	
2. 課題解決思考法	
① 課題解決の手順	
② 真因の追求	
③ 解決策の立案	

[介護職]

オ. 管理・監督者研修Ⅱ

[定員10名]

対象者：介護職・看護職のリーダー、主任
 受講方法：全課程受講
 研修内容：ケア管理教育プログラム
 研修目的：ケア管理能力を身に付ける
 事前準備：自己学習、自施設での取り組み内容のまとめ

[第1回] 7月 4日(金) 13:00~16:00 《Web研修》
1. 情報管理、ケア管理能力について ① 7つのケア管理能力について講義と質疑応答
[第2回] 7月11日(金) 13:00~16:00 《Web研修》
2. リスク管理、暮らしの継続について ① 自施設のリスク管理、暮らしの継続の取り組み内容発表 ② リスク管理能力、暮らしの継続を保証する体制を整備する能力について、講義とディスカッション
[第3回] 7月25日(金) 13:00~16:00 《Web研修》
3. 最期の看取り、倫理的感受性について ① 自施設での最後の看取りの取り組み内容について発表 ② 講義とディスカッション 倫理的感受性、看取りの体制を整備する能力について
[第4回] 8月 4日(月) 13:00~16:00 《Web研修》
4. 自己研修、リフレクションについて ① 自施設での自己研鑽への取り組み内容について発表 ② リフレクションについて、職員の自己研鑽への体制を整備する能力について、講義とディスカッション
[第5回] 8月29日(金) 13:00~16:00 《Web研修》
5. マネジメントについて ① 職員満足への体制を整備する能力、特養の機能発揮への体制を整備する能力、ケアマネジメント向上に取り組む能力について、講義とディスカッション
[第6回] 10月 9日(木) 13:00~16:00 《集合研修》
6. 自己の課題、取り組みについて ① ケア管理に関する各自の課題とそれへの取り組み内容を発表 ② より良い内容の検討
[第7回] 11月18日(火) 13:00~16:00 《集合研修》
7. 中間報告会 ① 課題と取り組み内容の現状等について報告・共有 ② より良い内容の検討
[第8回] 1月27日(火) 13:00~16:00 《集合研修》
8. 取り組み内容の発表、まとめ ① 課題への取り組み内容の発表 ② 参加者の取り組みへの感想、今後の課題をディスカッション

[総務・企画・経営職]

カ. 経営者研修

[定員50名]

対象者：施設長、法人役員・事務局長

[1日] 日程未定 13:00~16:00 《集合研修》

「2040年を見据えた経営戦略」

(2) 専門研修

ア. 生活相談員研修

[定員 各30名]

研修Ⅰ（経験3年未満） 8月22日(金) 10:00~16:00 《集合研修》

(1) 生活相談員業務の基本的理解と責務

研修Ⅱ（経験3年以上） 9月 5日(金) 10:00~16:00 《集合研修》

- (1) 対人援助におけるコミュニケーション技術
- (2) 他職種連携
- (3) 権利擁護
- (4) 「地域における公益的取組」における生活相談員の役割

イ. 看護職員研修（キャリア形成支援選択型研修・Web）

[定員 各コース30名]

コース	日 時	研 修 内 容
A	1月20日（火） 13:00～16:00	1.利用者の安全と尊厳ある暮らしを支える看護
B	2月 3日（火） 13:00～16:00	2.認知症高齢者の理解と看護 ①高齢者施設において認知症を持つ人を Care する重要性 ②認知症の病態・症状の理解 ③認知症を持つ人へのアセスメントと Care
C	2月17日（火） 13:00～16:00	3.身体的老化の特徴をふまえたフィジカルアセスメント 4.予防的健康管理及び急変時の対応 （入居者のベネフィットと経営への貢献を両立）
D	3月 4日（水） 13:00～16:00	5.看取り期のケア・体制整備
E	3月10日（火） 13:00～16:00	6.利用者の豊かな生活を支えるための多職種連携・協働 7.地域包括ケアを支える看護師の役割（他機関協働）

ウ. 看取りケア研修

[定員 30名]

9月9日（火） 10:00～16:00	《集合研修》
「最期まで生ききることを支える看取りケア」 ・看取り期にある人の理解 ・穏やかな看取りを支えるためのケア方法 ・看取り期にある人・家族を支える体制整備	

エ. 口腔ケア・栄養管理研修

[定員 30名]

[日程未定] 10:00～16:00	《集合研修》
(1) 口腔ケアの必要性 (2) 口腔ケアと食事支援 (3) O-HAT の活用 (4) 口腔関連加算・栄養関連加算	

オ. 高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修

[定員 40名]

7月10日（木） 13:00～16:00	<Web 研修>
(1) 尊厳ある介護と高齢者虐待・不適切なケア・身体拘束を生まない職場づくり	

2. 実践研究の推進

(1) 科学的介護の実践・研究 ア. エビデンスに基づく介護（理論と知識の習得 → 根拠に基づいたアセスメント → 多職種協働によるケアマネジメント → 数値化によるモニタリング → 成果の可視化 効果測定 → エビデンスの蓄積のサイクルに則った取組み）の実践に努める。 イ. 自己研鑽、OJT、研修の受講、サービスの質向上に向けた実践研究の取組み等により、専門性の向上に努める。	
(2) 令和7年度「実践研究発表会」の開催	

Ⅳ 地区活動の推進

1. 地区活動の推進

(1) 名取・岩沼地区	総 会
(2) 白石・角田地区	9月 職員交流事業（研修会等） 令和8年3月 地区総会
(3) 塩釜・多賀城・黒川地区	6月 第1回幹事会 9月 地区連研修会 10月26日(日) 地区連介護フェスティバル(松島町文化観光交流館) 11月 石巻・黒川地区合同災害対応訓練 令和8年 第2回幹事会 令和8年度総会
(4) 加美・大崎地区	事例検討会 研修会 親睦会
(5) 栗原地区	10月～11月 研修会若しくは情報提供・意見交換会 令和8年3月 総会
(6) 登米地区	3月 令和7年度総会 6月 情報交換会・研修会
(7) 石巻地区	6月 総会 8月 担当者会議 10月 第1回勉強会 11月 石巻地区介護福祉フェスティバル 2025 11月 石巻・黒川地区合同災害対応訓練 令和8年3月 第2回勉強会
(8) 気仙沼地区	4月9日 令和7年度総会 6月 施設長・管理者会議 7月 職員研修会 9月 第8回もとよし介護フェスティバル 11月 職員研修会 11月 第3回実践事例発表会 令和8年2月 施設長・管理者会議

2. 地区連絡協議会活動助成金事業

地区活動を推進するため、助成額を増額する。

①「介護・福祉フェスティバル」実施地区に対しては、20万円を交付する。

②上記以外の地区に対しては、上限10万円の範囲内で必要額を交付する。

Ⅴ 災害時相互支援体制の推進

1. 災害対応力の向上

(1) 地区災害対応訓練の充実
(2) 災害対応力向上研修の実施 ア. 福祉避難所開設・運営研修 イ. 災害派遣介護チーム員養成研修（集合研修） 令和7年10月29日（水）10：00
(3) 災害対策委員会活動 ア. 災害時相互支援体制の運用 イ. 災害対応力向上研修の企画・実施 ウ. 全国老協ほか関係団体との連携 エ. 災害支援について考えるセミナーの開催

2. 「宮城県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」への参加

- (1) 「宮城県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」活動への参加・協力
 - ア 広域支援体制検討部会
 - イ 災害派遣福祉チーム部会

3. 東北ブロック老人福祉施設協議会との連携

- (1) 東北ブロック老施協との広域連携
 - ・東北ブロック災害時広域連携に係る調査・研究、訓練等への参加

4. 全国老人福祉施設協議会との連携

- (1) 災害派遣福祉チーム（DWA T）活動への協力

【各種委員会事業】

1. 総務企画委員会

- (1) 本会の適正な運営と事業の促進を図るため随時開催する。

2. 制度政策委員会

- (1) 部会活動の充実
- (2) 宮城県介護人材確保協議会等との連携
- (3) 「地域共生社会」の実現に向けた取組
- (4) 東北ブロック老施協施設種別委員会への参加

3. 広報委員会

- (1) 人材の確保・育成・定着の取組
- (2) 宮城県介護人材確保協議会等との連携

4. 研修委員会

- (1) 人材の確保・育成・定着の取組
- (2) 宮城県介護人材確保協議会等との連携
- (3) 職員研修の充実強化
- (4) 実践研究の推進
- (5) 令和7年度「実践研究発表会」開催

5. 災害対策委員会

- (1) 災害時相互支援体制の運用
- (2) 災害対応力向上研修の企画・実施
- (3) 全国老施協ほか関係団体との連携
- (4) 災害支援について考えるセミナーの開催

6. 宮城次世代委員会

- (1) 仙台市老施協との合同カントリーミーティングの開催
- (2) 仙台市老施協との合同リーダー中堅職員交換研修の開催
- (3) 仙台市老施協との合同リーダー中堅職員交換研修フォローアップ研修の開催
- (4) 社会変化に対応した介護事業所の取り組みについての意見交換及び実践

【諸会議の開催】

1. 通常総会

〔日時〕	令和7年4月25日（金）13：30
〔場所〕	ホテル白萩 2階「錦」
〔内容〕	議案第1号 令和6年度事業報告（案）について 議案第2号 令和6年度収支決算報告（案）について 監 査 報 告 議案第3号 令和7年度事業計画（案）について 議案第4号 令和7年度収支予算（案）について 議案第5号 「宮城県老施協災害時相互支援協定書」協定期間の延長について 議案第6号 理事の退任に伴う後任理事の選任について

2. 理事会（役員会）

（1）本会の適正な運営と事業の促進を図るため、随時開催する。

3. 監事会

〔日時〕	令和7年4月11日（金）15：00
〔場所〕	宮城県老人福祉施設協議会事務局
〔内容〕	（1）令和6年度事業の実施状況について （2）令和6年度収支予算の執行状況について

【関係機関・団体との連携】

1. 宮城県保健福祉部長寿社会政策課との意見交換会
2. 全国老施協、東北ブロック老施協、仙台市老施協との連携・協力
3. 宮城県、宮城県社会福祉協議会等の関係機関・団体の事業への協力（委員就任等）
4. 宮城県介護人材確保協議会との連携・協働
5. 宮城県介護福祉士会との連携

【 資 料 】

宮城県老人福祉施設協議会 高齢者福祉施設「キャリアパス」モデル、教育・研修体系

1. 策定の目的

質の高い福祉サービスの提供、社会福祉法人の経営機能の強化を図るため、「介護職」と「総務・企画・経営職」の『キャリアパス』モデルを策定し、会員施設とともに計画的・継続的に人材育成を進める。

2. 策定のねらい

- (1) 場当たりの人材育成から脱却し、計画的に人材を育成する。
- (2) 高度の専門性を持った介護リーダーを育成し、介護現場における教育（OJT）の強化を図る。
- (3) 尊厳を支えるケアの実現のために、求められる介護職員像を明確にして、キャリアパスの段階に応じた能力を身につける機会を提供する。
- (4) 体系的な知識・技術を習得できる継続教育のシステムをつくることにより、介護職員の専門知識・技術を向上させ介護の平準化、標準化を図り介護の質を向上させるとともに、介護の仕事の魅力を高める。
- (5) 法人経営の中核を担う人材を育成し、法人本部（事務局）の経営機能の強化を図る。

《求められる介護福祉士像》

1. 尊厳と自立を支えるケアを実践する
2. 専門職として自律的に介護過程の展開ができる
3. 身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる
4. 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる
5. QOL（生活の質）の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる
6. 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる
7. 関連領域の基本的なことを理解し、他職種協働によるチームケアを実践する
8. 本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる
9. 制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる
10. 介護職の中で中核的な役割を担う

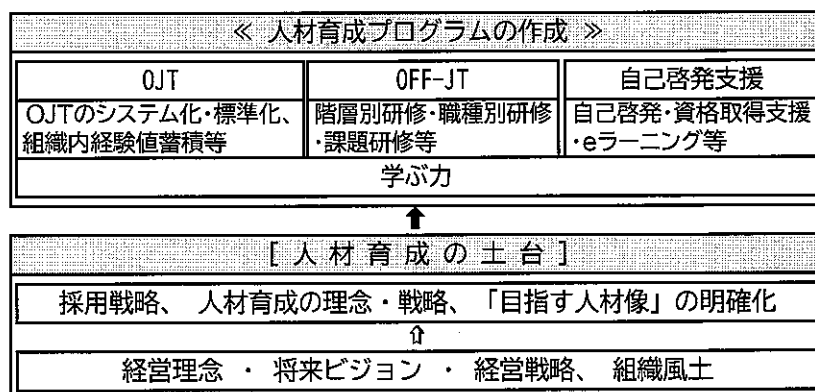
+

高い倫理性の保持

（平成29年9月26日 第11回社会保障審議会福祉部会 福祉人材確保専門委員会）

宮城県老人福祉施設協議会 高齢者福祉施設職員「キャリアパス」モデル

職位	職 責	対応役職	求 め ら れ る 能 力	
経営職	● 施設の統括責任者として経営責任を負う ● 理念と計画を持って、組織を統括し、法人全体の成長を図る ● 人材育成 ● 法令順守の徹底 ● 地域との協力・連携	法人事務局長 施設長	○ 経営戦略策定・推進（中長期ビジョン策定、経営分析、人事戦略）	
			○ 施設の経営管理・統率力	
			○ 人事・労務管理能力（採用・育成・人事評価・労働時間・安全衛生）	
			○ 危機管理能力	
			○ 財務管理能力	
			○ コンプライアンス	
			○ 理事長をサポートできる経営管理能力	
			○ 行政・関係機関・団体と協力・連携し地域福祉の推進・向上に貢献	
管理職	● 部門の業務執行責任を負う ● 組織管理 ● 財務管理 ● 組織の目標設定と課題解決 ● 部下の指導・育成 ● 地域の社会資源との連携・調整	事務長 課長（係長）	○ 部門統率力	
			○ 部門業務進行管理能力 ・部門の多職種をマネジメントして、チームアプローチを進める能力 ・課題等のチーム解決能力を高める能力	
			○ 人事・労務管理能力（採用・育成・人事評価・労働時間・安全衛生）	
			○ 業務上の問題・課題発見能力と解決能力	
			○ 苦情処理、リスク管理	
			○ 業務の企画力	
			○ 事務局長、施設長への橋渡し能力（提言能力）	
監督職	● チームやユニットの管理・運営 ● サービス管理 ● 部下の指導・育成 ● 地域の社会資源との連携・調整	主任 リーダー	○ チームマネジメント力	
			○ リスクマネジメント力	
			○ 業務の企画力	
			○ 業務進行管理能力	
			○ 指導力・育成力（自己啓発支援、キャリア形成支援、コーチング）	
			○ 実務における高度な知識・実践力	
			○ 地域と関わる力	
一般職	● 創意工夫を凝らし、自主的な判断、改善、提案を行いながら業務を遂行する ● 後輩を指導する	一般職 （事務職員） （介護職員）	○ 通常の業務に精通し、日常の定型的な業務を独立して行える能力	
			○ チームアプローチの理解と協働能力	
			○ 後輩へ業務アドバイスができる能力	
			○ 記録を整理し、上司に報告・相談ができる	
			○ 説明能力	
				○ 家族との信頼関係構築・調整能力
新任	● 担当する基本的な業務を確実に遂行する		○ 社会人・組織人として自己を確立する	
			○ 関係法令・制度の理解	
			○ 法人理念の理解	
			○ 業務の基本的知識・技術	
			○ コミュニケーション技術	



教育・研修体系

≪ 総務・企画・経営職 ≫

経営者研修
(1)法人・施設経営マネジメント (2)経営戦略・マーケティング (3)経営リスクマネジメント (4)中長期計画策定 (5)人事・労務管理 (6)財務分析 (7)事業管理 (8)地域共生社会に向けた取組み



管理・監督者研修
(1)経営戦略・マーケティング (2)経営リスクマネジメント (3)中長期計画策定 (4)人事・労務管理・組織運営 (5)財務管理 (6)事業管理 (7)福祉・労働関係法令 (8)職場内衛生・安全管理 (9)職場環境とメンタルヘルス (10)課題解決思考法 (11)地域包括ケアシステム・地域共生社会に向けた取組み (12)イメージアップ戦略・広報



中堅職員研修
(1)労働法令 (2)労務管理 (3)福祉関係法令 (4)リスクマネジメント (5)ハラスメント防止・対応 (6)ファシリテーションスキル (7)リーダーシップ (8)問題解決の思考法



新任職員研修
(1)仕事の基本 (2)高齢者福祉・介護保険制度 (3)労働法令の基礎 (4)社会福祉法人会計・経理 (5)公文書作成・文書管理 (6)定款・諸規程

≪ 介護職 ≫

管理・監督者研修 [介護福祉士]
(1)組織マネジメント・チームマネジメント (2)課題解決思考法 (3)業務管理・財務 (4)サービスの質の管理・苦情対応 (5)人材育成手法 (6)労務管理 (7)職場環境とメンタルヘルス (8)地域包括ケアシステム・地域共生社会に向けた取組み (9)他職種や地域との関係機関との他職種連携・協働の理解と実践 (10)イメージアップ戦略・広報
◎ 認知症介護リーダー研修 ◎ 認知症介護指導者養成研修 ● 認定介護福祉士養成研修 ○ 安全対策担当者研修



中堅職員研修(採用3年～5年)※【求められる介護福祉士像】	
[実務者研修終了者等]	[介護福祉士]
(1)介護過程の展開Ⅱ-①②③④⑤ (2)介護と看護の連携・協働 (3)医学的知識とフィジカルアセスメント (4)リスクマネジメント (5)ハラスメント防止・対応	(1)介護過程の展開Ⅱ-①②③④⑤ (2)介護と看護の連携・協働 (3)医学的知識とフィジカルアセスメント (4)リスクマネジメント (5)ハラスメント防止・対応 (6)ファシリテーションスキル (7)リーダーシップ
	◎ 認知症介護実践者研修 ● 介護福祉士ファーストステップ研修 ○ 喀痰吸引等研修



新任職員研修 (採用2年目)	
[無資格者・初任者研修修了者]	[介護福祉士]
(1)介護過程の展開Ⅰ-①② (2)他職種の理解と連携 (3)看取りケア	(1)介護過程の展開Ⅰ-①② (2)他職種の理解と連携 (3)看取りケア ● 介護福祉士基本研修
(採用1年目)	
[無資格者・初任者研修修了者等]	
前期 (1)仕事の基本 (2)高齢者福祉・介護保険制度 (3)介護の基本 (4)介護における尊厳の保持・自立支援 (5)認知症の基本的理解	(6)-①介護における医学的基礎知識① (6)-②介護における医学的基礎知識② (7)利用者理解とコミュニケーション (8)介護記録の書き方 (9)介護技術の基礎 ①～⑥
後期 (10)フォローアップ研修	
● 介護職員初任者研修 ● 介護福祉士実務者研修 ◎ 認知症介護基礎研修	